

事業所名	ブロッサムジュニア 小食器ヶ丘教室 【放課後等デイサービス】		支援プログラム（参考様式）	作成日	2025 年	3月	9日
法人（事業所）理念	えがおで咲かせる、ひとりひとりの「できるよろこび」			営業時間	平日：10時から18時 土日祝・休休日：9時から16時		
支援方針	・集団療育プログラムのほかに、個別療育プログラムを用意し、その日の「出来た！」を連絡帳で見える化（感覚統合・SST・知育・運動・ごっこ遊び等多岐にわたります。） ・他者のかかわりを重点に、コミュニケーション能力やルールを吸収する力を充実させます。 ・音楽や体操、絵本などの遊びを通して情操を豊かにします。 ・「サービス」ではなく「ホスピタリティ」でお子様に寄り添います。			送迎実施の有無	あり なし		
		ねらい	支援内容	具体的な活動や支援内容			
健康・生活	(a) 健康状態の把握 (b) 健康状態の維持・改善 (c) 生活のリズムや生活習慣の形成 (c) 基本的生活スキルの獲得	(a) 健康状態の把握 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難であるお子さまの障害の特性及び発達過程、特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。 (b) 健康の増進 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を支む力の育成に努めるとともに、楽しい食事ができるよう、口腔機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自具身に関する支援を行う。さらに、病気の予防や安全への配慮を行う。 (c) リハビリテーションの実施 日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれのお子さまに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。 (d) 基本的生活スキルの獲得 身の回りを清潔にし、衣食、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。	来所時に体温測定を行い、健康状態を確認します。始まりの会では、健康状態や気持ちの表現を質問し、言葉やイラストを選んで自分の気持ちを表現できるように促します。困り感がある際は、気持ちの絵カードや言葉のモデルを示し、自分で表現できるように支援します。また、日常生活に必要なスキル（食事、排泄、着替えなど）の習得を支援し、数日の目録に慣れ、生活リズムを整えるよう配慮します。（作業療法士が、姿勢や動作の改善に関するアドバイスをを行います。） 例 ・ランドセルや、ロッカーの整理整頓をする ・忘れ物をなくす ・時間内に身支度を終わらせる				
運動・感覚	(a) 姿勢と運動・動作の向上 (b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c) 保育する感覚の総合的な活用	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び管理、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 (b) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。 (c) 身体の移動能力の向上 自力での身体移動や歩行、歩行者用車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。 (d) 保育する感覚の活用 保育する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 (e) 感覚の補助及び代行手段の活用 保育する感覚器官を用いて状況を把握しやすくする各種の補聴器等の各種の補助機器を活用できるように支援する。 (f) 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応 感覚過敏の軽減、感覚鈍麻の克服、感覚の育ちにより適切な運動刺激や入力を行う。	体幹などを通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動能力の向上を目指します。□サーキットなどの異なる運動や動作を組み合わせた活動を通じて、筋力、持久力、柔軟性などの運動能力を高めます。注意して取り組んだり、集中して取り組めるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。 色や形の異なるブロックや絵本などの教材を用いて、視覚的に理解する力の向上を促します。 様々な楽器や音を使った活動、リズムに合わせて体を動かしたり、音を聞き分けたりする活動を通して、楽しい活動の中で聴くことや聴いて理解する力を促進します。 例 ・姿勢維持 ・階段を降りられるようになる ・体、体操を使った活動に取り組む				
本人支援	認知・行動	(a) 感覚や認知の活用 (b) 知覚からの認知過程の発達 (c) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 (d) 数量、大小、色等の習得 (e) 数の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。 (f) 認知の偏りへの対応 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個性の特性に配慮する。また、こだわりや偏見等に対する支援を行う。	買い物や料理を通じてお金の使い方や計算、時間の管理などを学ぶ機会を提供します。絵本や歌、パズル、時間を計るゲームを使い、楽しみながら空間・時間、数の概念を学び、深めます。お子さまが自ら問題を解決する機会をみえ、教材や教具を用いて視覚的に理解しやすい支援を行います。 例 ・話を正確に理解する ・想像する、イメージする力を養う ・複数指示を見えて行動する				
言語コミュニケーション	(a) 言語の形成と活用 (b) 言語の受容及び表出 (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d) コミュニケーション手段の選択と活用	(a) 言語の形成と活用 長期的な発音や発声と言語の文法を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 (b) 言語の受容及び表出 話し言葉や文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、表出する支援を行う。 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 個々に対応された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 (e) 読書能力の向上のための支援 絵本や書籍をお子さまと、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 (f) コミュニケーション機器の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 (g) 人間関係を意識し、身近な人と積極的な関係構築、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。	お子さまの興味や発達段階に合わせて、職員が意図を理解し応答しながら、遊びややりとりを通じて人への関心を広げます。表情やジェスチャー、視線などを使ったコミュニケーションを受け渡し、実際にものを見て触れたりしたことばの理解を深めます。歌やリズム、ゲームを通じて楽しむことばを学べる環境を提供し、日常会話や活動で新しいことばや概念を学ぶ機会をつくります。また、「貸し」「いっしょに遊ぶよ」などのやりとりを練習する場を設け、職員が見本を示しながら支援を行います。 例 ・友達と一緒に言葉を伝える ・友達に「入れて」「抜けてね」を伝える ・おもちゃの貸し借りで適切に断ることができる				
人間関係・社会性	(a) 他者との関わり（人間関係）の形成 (b) 自己の理解と行動の調整 (c) 仲間づくりと集団への参加	(a) 他者との関わり（人間関係）の形成 他者の存在を感じ、自分自身と他者との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 (b) 自己の理解と行動の調整 遊びや遊びで人の動きを観察することにより、社会性や人間関係の芽生えを支援する。 (c) 仲間づくりと集団への参加 他者の存在を感じ、自分自身と他者との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 (d) 自己の理解と行動の調整 遊びや遊びで人の動きを観察することにより、社会性や人間関係の芽生えを支援する。 (e) 仲間づくりと集団への参加 他者の存在を感じ、自分自身と他者との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 (f) 自己の理解と行動の調整 遊びや遊びで人の動きを観察することにより、社会性や人間関係の芽生えを支援する。 (g) 仲間づくりと集団への参加 他者の存在を感じ、自分自身と他者との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。	事前に視覚的な手掛かりを使って丁寧に説明し、お子さまが安心して集団活動に参加できるよう支援します。少人数での体験やゲームなどの活動を通じて、社会性の向上を促します。またお子さまが自分や他人の感情を理解し、適切に表現できるよう、職員がモデルを示します。 グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通じて、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを育てます。友達との遊びの場面では、職員が関わりながら同じ遊びに興味を持たせ、人との交流を楽しむようサポートします。ごっこ遊びや共同遊びを通じて、社会性を育む機会を提供し、職員が遊びに参加しながら行動やこぼしのモデルを示します。 例 ・自分の感情と向き合う ・気持ちの切り替えが出来るようになる ・適切な声の大きさに自分で気付け調節することができる				
家族支援	・個別療育や集団療育にて行った活動の内容を渡す時(お迎え時)や、写真付きでサービス提供記録にご覧いただきます。 ・6ヶ月に1回は保護者、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有しています。 ・個別療育の観察の機会を作り、保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。			移行支援	・必要に応じて学校(園)に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。 ・事業所での子供を他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等で伝、日々の様子や情報の交換を行います。 ・学校(保育園・幼稚園)への送迎時、先生と学校(園)での様子や事業所での過ごし方の情報共有を行います。		
地域支援・地域連携	・関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。 ・連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担に関して協議します。 ・各関係機関の情報に基づき、具体的に協働で取り組む方法や、困りごとに関する提案やポイントを共有します。 ・セルフプランの方には利用計画のコーディネートの中核を担う事業所の関係する会議に参画し、情報共有を行います。			職員の質の向上	ブロッサムグループ本部にて下記研修実施 ・スタッフ研修 ・専門職員によるスキルアップ研修 ・虐待防止研修 ・身体拘束適正化研修 ・感染症対策研修 その他 研修報告・モニタリングに於て研修成果を情報、意見交換実施		
主な行事等	・季節の行事 ・近隣施設や公園へ外出活動						